

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー西鉄二日市駅前教室		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日 ～ 2025年 8月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54 (回答者数)	47
○従業者評価実施期間	2025年 7月 19日 ～ 2025年 7月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で情報の共有を行い、個別支援計画の目標達成に向けた支援を教室全体で行っている。	活動記録での共有だけでなく、次回利用時の担当職員に口頭で共有事項を伝達したり、当日の終礼時に共有、検討を行っている。また、作業療法士、言語聴覚士より、専門的な視点からの内容を支援に取り入れられるようシートでの情報共有を行っている。	それぞれの職員の強みをさらに教室全体の支援に反映できるよう、個別支援、集団支援の内容について共有や検討する場を設けていく。
2	利用者の通う保育所、幼稚園、担当の相談支援事業所と連携を図り情報共有を行うことで支援方針を統一している。	日頃から園での様子やお困りごとを聞き取り、園との連携を進めている。継続した給連携ができるよう、定期的に園へ連絡を入れ、訪問ができるように努めている。相談支援事業所とは日頃から連絡を取り合い、モニタリング報告や担当者会議への出席を積極的に行っている。	集団生活に必要な力を支援の中で身につけられるよう、ニーズに合わせて個別支援だけでなく、ペア、小集団の支援も案内していく。担当の相談支援事業所によっては連携の弱い事業所もあるため、全ての事業所と連携を図れるよう努めていく。また、セルフプランの利用者様に関してはこちらから事業所間連携のお声掛けをしていく。
3	保護者様のニーズを丁寧に聞き取り、利用者様の実態や課題に応じて都度適切な支援、助言を行っている。	支援後のフィードバックの時間だけでなく、来所時の要syやご家庭、園での出来事を聞き取っている。	より丁寧に相談支援を行うことができるよう、積極的に面談を提案し、家族支援面を強化していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との連携や情報共有が不足している。	深い関係性が構築されていないため、必要時の連絡をすることがあっても定期的な連絡ができていない。また、地域の事業所を取りまとめる組織がなく、連絡会などの場が設定されていない。	まずは利用者様の併用先との関係性を構築していく。ハッピーから地域へ発信できるよう、具体的な施策を立案、実行していく。
2	ペアレントトレーニングなど、保護者様に向けた支援や情報提供の場が不足している。	職員の知識や技術、経験にばらつきや不十分さがあり、場の設定がしづらい。	ハッピー全体で実施されているオンライン家族支援の参加から促す。職員もファシリテーターとして参加することで、教室内での実施につなげていく。
3	曜日によって利用者様の人数に偏りがあり、平日の午前中に通える利用者様が少ない。	地域の中で平日に保育所や幼稚園に通っていない未満児のお子様のいる家庭へのアプローチができていない。	営業活動の中で、未満児のお子様を持つ方の集まる場所での宣伝ができるよう地域の情報収集を行い、実際に地域の方とふれあいの中でハッピーの周知活動をする。